

第337回 紅葉の古里を訪ねて

6K

日時	2023年11月10日(金) 9時45分 9時45分迄には受付終了して下さい。		
集合場所	常磐線北小金駅北口	徒歩10分の東平賀公園	役員が旗を持ち誘導します
交通	①新京成線=JR松戸から柏方向4駅目 ②武蔵野線=JR新松戸から柏方向1駅目 ③野田線=JR柏から上野方向2駅目		

(コース) 東平賀公園 → 本土寺 (休憩・入場料500円) → 大谷口歴史公園 (昼食・休憩)
 → JR新松戸駅 (自由解散) → 万満寺 → JR馬橋駅で流れ解散 (14時20分頃)
 30分 40分 5分

本土寺

古く水戸光圀公寄進といわれる古松・老杉の長い参道を抜け、仁王門をくぐると小路が広がり四季折々の顔で花木が迎えてくれます。特に紫陽花は有名で、別名「あじさい寺」とも呼ばれ参拝者に親しまれています。本土寺は、もと源氏の名門平賀家の屋敷あとと伝えられ、建治3年(1277)日蓮上人の弟子日朗を導師として招き、領内の地藏堂を移して法華道として開堂、日蓮上人により長谷山本土寺(ちょうこくさんほんどじ)と寺号を授かったのが始まりとされています。

おおよぐちれきしこうえん 大谷口歴史公園 (小金城址)

中世城郭として東葛飾地域で最大の規模(約49ha)を誇った「高城氏」の居城。天文6年(1537)に完成し、人々から「開花城」ともいわれましたが、豊臣秀吉の関東攻めにより天正18年(1590)落城。平成9年4月6日、自然と歴史にふれあうことのできる公園「大谷口歴史公園」として整備されました。なかでも文化財の調査に基づき復元された畝掘は、全国的にも極めて珍しい構造をしたものです。

萬満寺

本尊は中風除不動尊といわれ、中風や足の病によく効くとされています。春と秋の御開帳には「仁王股くぐり(病除け)」「不動まつり(中風除け)」で賑わい、多くの人出があります。[大祭日3月27日~29日、10月27日~2



注意事項

*本土寺の入場料500円は団体扱いで会が一括購入。

会で一部負担し、当日参加者は200円を受付時にお支払い

受付に遅刻した人は各自、入場料を個人扱いで500円をお支払いなので注意を。

下見: 2023年9月25日(月) 晴れ 四宮・原・柳川

誘導: 3班(市大14~市大19) 四宮・加藤 (岡澤)

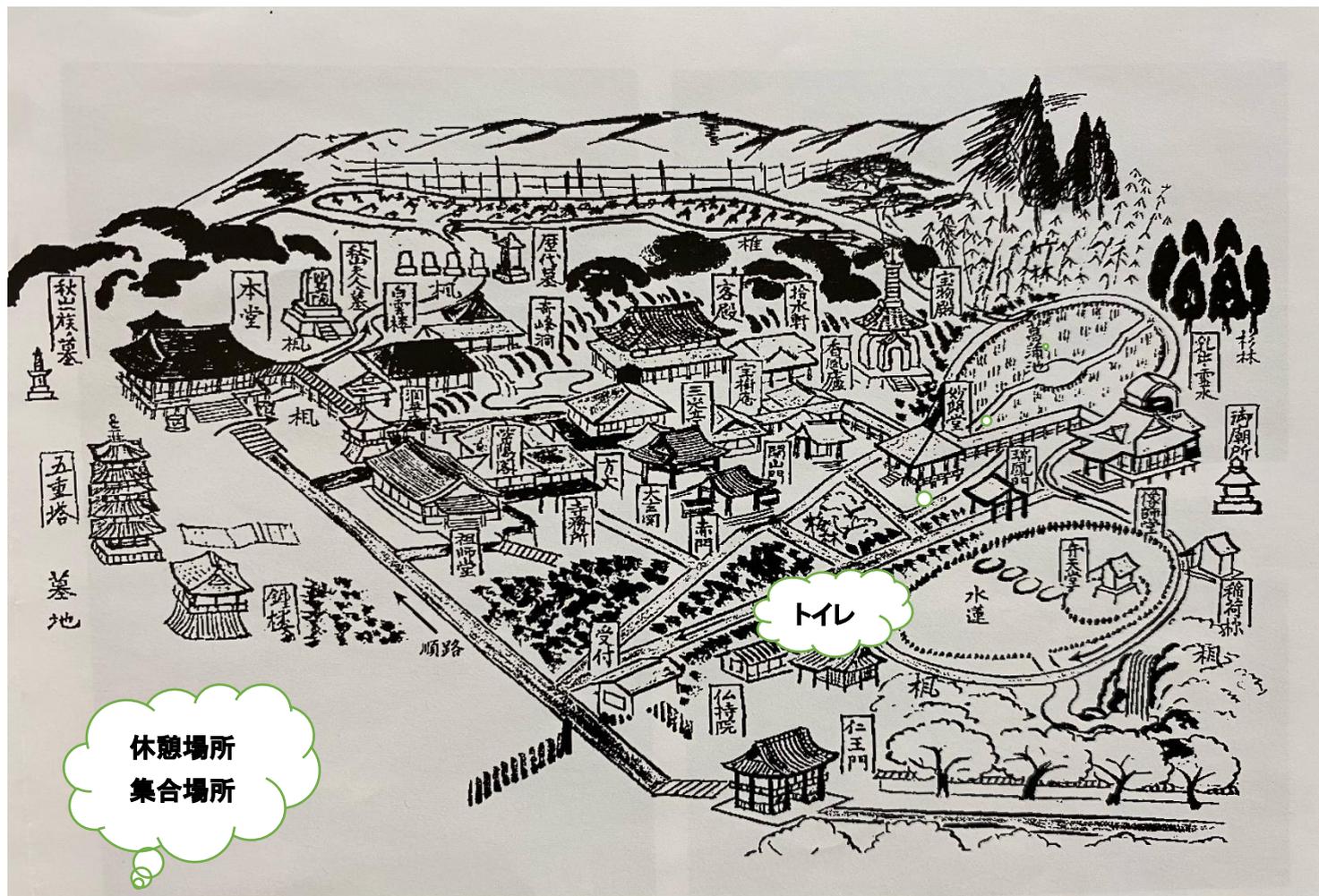
1班(老大 ~市大 9) 柳川・田中礼子 (滝沢・吉田)

2班(市大10~市大13) 原・井上 (田中紀子・美濃輪)

船橋市いきいき同窓会 歩こう会

本土寺境内散策

順路に従って、自由に秋を楽しんで下さい。



大谷口歴史公園

- ① トイレは正面入口1箇所のみです。(なるべく本土寺のトイレをご利用下さい)
 - ・洋式は女性専用(1つ)です。
 - ・和式は二箇所と男性便器一箇所のみです。
- ② 階段の上り下りは慎重に歩いて下さい。
 - ・足が突っ掛かりやすいので、ご注意下さい。
- ③ 昼食の場所
 - ・ベンチが少ないのでシートを準備して下さい。

新坂川沿いの道

自転車が通りますので、役員の自転車注意声で、すぐに左側を空けて下さい。(右側一列)

JR 新松戸駅

馬橋駅まで約45分です。電車の利便性と体力を考え、この駅で解散も可能です。

JR 馬橋駅

流れ解散(ご苦勞様でした)